

18 Mar 2022

**国際平和と安全に対する脅威に関する安全保障理事会に
対する上級代表のブリーフィング
中満泉軍縮担当上級代表のステートメント**

**High Representative's briefing to the Security Council on Threats to
International Peace and Security: Statement by Ms. Izumi Nakamitsu,
High Representative for Disarmament Affairs**

<https://reliefweb.int/report/ukraine/high-representative-s-briefing-security-council-threats-international-peace-and>

議長閣下

安全保障理事会の皆さん。

ロシアがウクライナの生物兵器プログラムの疑惑に関する文書を提出しました。

しかし国際連合は、そのような生物兵器計画について一切承知していません。

また、国際連合には現在、このような情報を調査する権限も技術的・運用的能力もないことを申し添えます。

先に安保理でお伝えしたとおり、国際法の関連文書は 1972 年の生物兵器条約であり、生物・毒素兵器の開発、生産、取得、移転、備蓄、使用を事実上禁止しています。

ロシア連邦とウクライナは、ともに生物兵器条約の締約国であります。

議長

生物兵器禁止条約（BWC）には、締約国が他国の活動に対して懸念や疑惑を抱いたときに、利用できる措置があります。

第5条で、締約国は、いかなる問題についても互いに協議・協力することになっています。

それは締約国間の二国間ベースで行われることもあれば、適切な国際的手続きによって行われることもあります。

このような生物兵器禁止条約の国際的手続きの1つは「協議会議の開催」です。

このほかにも、条約第5条や第6条のもとで、締約国間の懸念に対処できます。

BWCは、将来の課題に直面するために制度化が必要になっています。今度の第9回再検討会議は、条約を包括的に強化する機会を提供するものとなっています。

国連軍縮部は、生物兵器禁止条約の下で締約国が決定するであろういかなる手続きも、支援する用意があります。

議長

ウクライナに存在する原子力発電所の安全・安心について発言します。

国際原子力機関（IAEA）事務局長によれば、ザポリージャ原子力発電所において、全国の電力網をつなぐ第3の外部送電線との接続が喪失しました。しかしその後も、昨日までにすべての安全装置が完全に機能したとのこと。これはウクライナ当局による情報です。

ウクライナ南部の施設にはロシア国営原子力会社の関係者が入りましたが、引き続きウクライナ人スタッフが原発を運転しています。

チョルノブイリ原発は、3月14日に国の電力網に再接続されました。その後も、接続状態は維持されています。しかし、ウクライナ人の運転員や警備員は3週間も交代できていません。

IAEAは、ウクライナ当局から、同国の15基の原子炉のうち8基が運転を継続しているとの報告を受けています。

核保障措置に関しては、チェルノブイリ以外の原発からはIAEA本部にデータが送られてきています。しかしチェルノブイリ原発に設置された監視システムからの遠隔データ送信はまだ受け取っていないと聞いています。

この機会に、ウクライナの原子力施設の安全および保安に関する枠組みを確立する必要があります。そのためIAEAによる取り組みを事務総長が支持することを改めて表明していただきたいと思います。それと同時に、すべての関係者がこの目的のために努力することを強く求めます。

議長閣下

私はまた、この紛争が一般市民に与えている恐ろしい犠牲を強調したいと思います。3月16日現在、人権高等弁務官事務所は、780人の死者を含む2032人の民間人の犠牲者を記録しており、うち58人が子どもでした。

実際の死傷者数はもっと多いと思われます。

これらの死傷者の多くは、広範囲に影響を及ぼす爆弾の使用によるものです。

をれは重砲、多連装ロケットシステム、弾道ミサイルや巡航ミサイル、空爆などによる攻撃をふくみます。

また、民間人に向けた攻撃は国際人道法で禁止されていることを、改めて強調したいと思います。私たちはこの戦争に外交的解決策を見出し、暴力に終止符を打たなければなりません。

グテーレス事務総長がこう述べました。私はそれを引用します。

「国連憲章と国際法の原則に基づき、敵対行為の即時停止と真剣な交渉が必要だ。

私たちには平和が必要だ。ウクライナの人々のための平和。世界のための平和だ」

私たちには今、平和が必要なのです。ご清聴ありがとうございました。